祈りの必要性①

人の祈りを喜ばれる神様

創世記 1章~3章

私たちが真の神様に、初めて自分の口でお祈りしたのはいつだったでしょうか? イエス・キリストの救いについて、知ったときでしょうか。クリスチャン家庭で生まれた人は、親に導かれ、食前のお祈りをして褒められたのが、最初だったかも知れません。クリスチャンとなってからは、人生の様々な場面で神様に訴え、求め、祈りに応えられた体験もあるでしょう。しかしまた、祈りに応えられなかった経験も、なぜかあるのです。どうしてなのでしょうか?

主イエス様は「求めなさい、捜しなさい、叩きなさい」と祈りについて言われました。なぜそうする必要があるのでしょうか? 全てを支配し、何でも知っておられる全能の神である方に、私たちの祈りは必要なのでしょうか? ジョン・ウエスレーは「神はこの世で、信仰(者)の祈りによらなければ、何もなさらない」と言いました。今回から、祈りについて聖書から学んでいきたいと思います。

聖書の学び

- I、人間が祈るようになった理由 (創世記 1:26~3:8)
 - 1、神様は何のためにアダム $(人間\cdot人類)$ を創造されたのでしょうか? (創世記 1:26)
 - 1) 目的:愛する存在として人を創り、家族のように人と愛し合うこと

計画:神が創造された世界の管理運営を人間に任せ、交わりをする

実行:神は実務者である人(アダム)の報告や相談、願いや望みをきかれる。

人類の代表者

神様に祈ること

- 2) 神の代理人として創造されたアダムに与えられた能力 (創世記 1:26)
- ①「われわれの似姿に造ろう」: 神に代わる代理人として…世界を支配する能力
- ②「その鼻にいのちの息を吹き込まれた」:神と共に生き、交われるいのち(創世記 2:7)
 - *神様と人の関係:例えば・・・ 君主と首相、皇帝と総督、オーナーと店長 主権者と大使。
- ③そよ風の吹くころ・・・いつも神様と一日の出来事などを話すはずだった(創世3:8)

2、神様の世界を治める法則は、どのような法則でしょうか?

(詩篇8:5~6)

※ 人(アダム)に世界を治めさせ、人からの祈り(報告や相談・願望) を聞かれる。

神様の許可により、物事が神の御旨により実行される。 (祈りに応えられる)

Ⅱ、神様が分からなくなった人

- 1、エデンの園で神様に罪を犯した人が失ったものは何でしょうか?
- 1)神様といのちの関係が失われた … ①死ぬ者となる。霊の世界が分からない。
 - ②神様が分からず、意志の疎通もできない
- 2)世界の支配権をサタンに奪われた。 (この世の支配者はサタン)

(ヨハネ12:31)

- 3)人間 … 肉の人は、見えない悪魔に操られてしまう。 (創世6:5)
- 2、最悪の中にも、神様は信仰による回復の道を残して下さった。

(ヘブル11章参照)

Ⅲ、主イエス・キリストの名による祈り

1、主イエス様が、失敗した最初のアダムに代わって、血の代価を 払って買い戻して下ったものは何でしょうか?

①永遠のいのち…

(ローマ5:18)

②神様と和解:仲介者主イエス・キリスト

(ヘブル9:15)

③神様と人の関係:親子関係「アバ・父よ、と叫ぶ御子の御霊」が与えられた。

(ローマ8:14~16、ガラテヤ4:5~7)

2、主イエス・キリストを通して世界を治める法則

私たちからの信仰の祈り(報告や相談・願望)を主イエス・キリストが神様に取り次ぎ、

神様が許可を与えられ、物事が神の御旨により実行される。(祈りに応えられる)

(ヨハネ14:12~14)